

県内の景気動向

概況（2019年5月）

景気は、拡大している

消費関連では、新車販売台数が前年を上回る

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

5月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は催事効果による食料品の増加や、売り場改装による化粧品の増加などから前年を上回り、スーパーは食料品は全体的に堅調だったことなどから既存店ベースは前年を上回った。耐久消費財では、新車販売は普通乗用車と軽乗用車は自家用車が増加、小型乗用車ではレンタカーも増加したことなどから前年を上回り、電気製品卸売はエアコンが減少したことなどから前年を下回った。

建設関連では、公共工事は県、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから前年を上回った。建築着工床面積は、居住用、非居住用ともに増加したことから前年を上回った。新設住宅着工戸数は、貸家、分譲は減少したことから前年を下回った。建設受注額は、民間工事は増加したことから前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を上回った。国内客は前年を上回り、外国客は前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を上回った。

総じてみると、観光関連は好調で、消費関連、建設関連は概ね好調なことから、県内景気は拡大している。

消費関連

百貨店売上高は、催事効果による食料品の増加や、売り場改装による化粧品の増加などから3カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、衣料品は減少したものの食料品は全体的に堅調だったことなどから、既存店ベースは2カ月ぶりに前年を上回った。全店ベースは8カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、普通乗用車と軽乗用車は自家用車が増加、小型乗用車ではレンタカーも増加したことなどから4カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、洗濯機や冷蔵庫、テレビは増加したもののエアコンが減少したことなどから、2カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、県民の消費マインドが堅調なことから、引き続き概ね好調を続けるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国は減少したが、県、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、3カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（4月）は、居住用、非居住用ともに増加したことから2カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（4月）は、持家、給与は増加したが、貸家、分譲は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことから3カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは前年を下回り、生コンは公共工事向け、民間工事向けともに減少したことから前年を下回った。鋼材は民間工事の進捗により出荷が増加したことから前年を上回り、木材は住宅関連工事向けの出荷増などから前年を上回った。

先行きは、新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、8カ月連続で前年を上回った。国内客は前年を上回り、外国客は前年を下回った。外国客は、空路利用客は増加し、海路利用客は減少した。方面別に寄与度でみると香港は増加し、台湾、中国本土、韓国は減少した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を上回った。主要観光施設入場者数は3カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は前年を下回り、売上高は前年を上回った。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は依然として根強いことや航空路線の拡充などがあり、好調に推移するものとみられる。

雇用関連

新規求人数（４月）は、前年同月比 0.4％減となり 2 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（季調値、４月）は 1.18 倍と、前月と同水準だった。完全失業率（季調値、４月）は 2.4％と、前月より 0.7％ポイント改善した。

その他

消費者物価指数（４月）は、光熱・水道や食料などの上昇により、前年同月比 1.1％増と 31 カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が 7 件で前年同月を 3 件上回った。負債総額は 10 億 4,200 万円で前年同月比 200.3％増となった。

りゅうぎん調査（2019年5月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2019.3－2019.5)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	0.7	3.1
(2) スーパー(既存店)(金額)	0.6	0.4
(3) スーパー(全店)(金額)	1.2	1.3
(4) 新車販売(台数)	6.0	4.6
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 2.9	2.0
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	30.4	▲ 15.8
(2) 建築着工床面積(m ²)	(4月) 5.5	(2-4月) 1.3
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(4月) ▲ 1.5	(2-4月) ▲ 11.1
(4) 建設受注額(金額)	32.9	128.8
(5) セメント(トン数)	▲ 3.7	▲ 5.8
(6) 生コン(m ³)	▲ 7.2	▲ 1.4
(7) 鋼材(金額)	4.5	▲ 0.6
(8) 木材(金額)	11.0	9.1
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	0.5	2.8
うち外国客数(人数)	▲ 15.1	▲ 7.2
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 4.6	(前年同期差) 1.3
	(実数) 76.9	(実数) 79.9
(3) "売上高(金額)	8.0	2.5
(4) 観光施設入場者数(人数)	P11.9	P6.4
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 2.1	▲ 3.7
(6) "売上高(金額)	2.1	0.6
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(4月) ▲ 0.4	(2-4月) 1.5
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、4月) 1.18	(実数、2-4月) 1.19
(3) 消費者物価指数(総合)	(4月) 1.1	(2-4月) 0.6
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) ▲ 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(4月) 2.4	(2-4月) ▲ 0.0

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

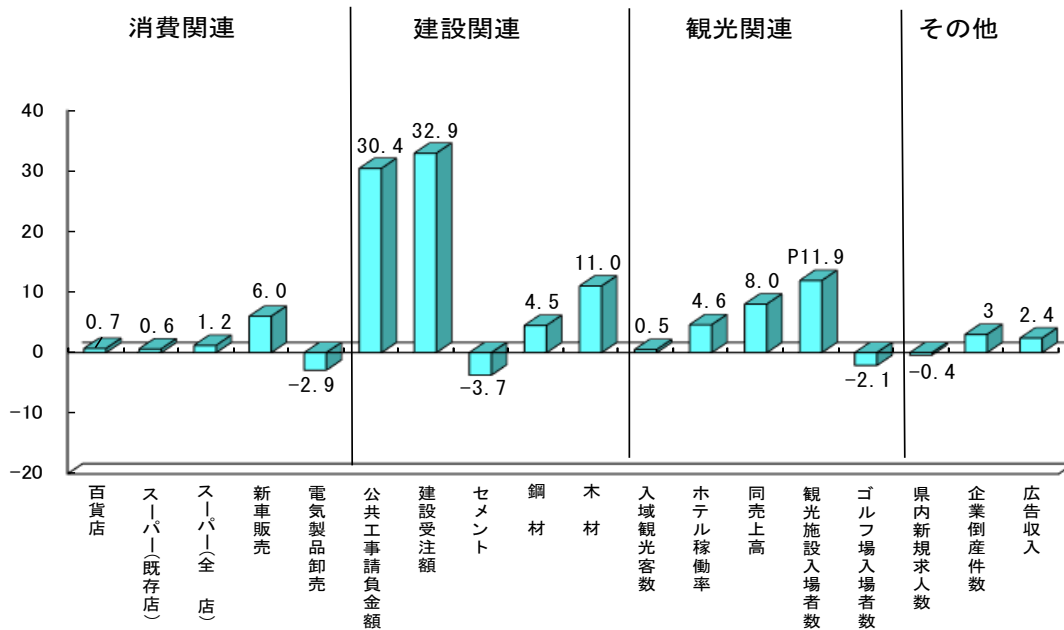
(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

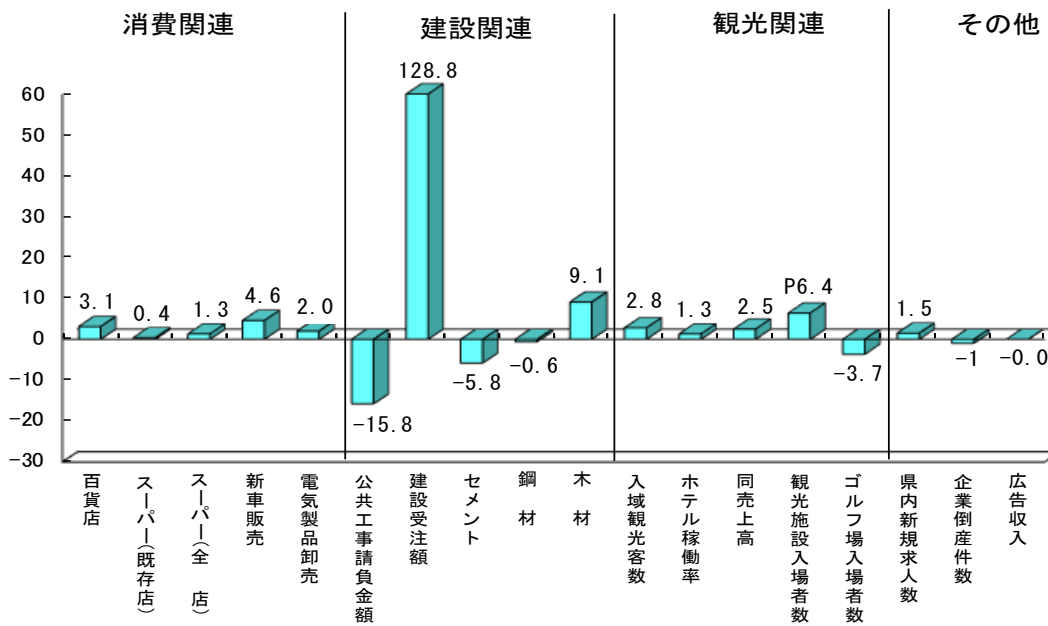
(注6) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

項目別グラフ(単月、2019年5月)



(注) 広告収入は19年4月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

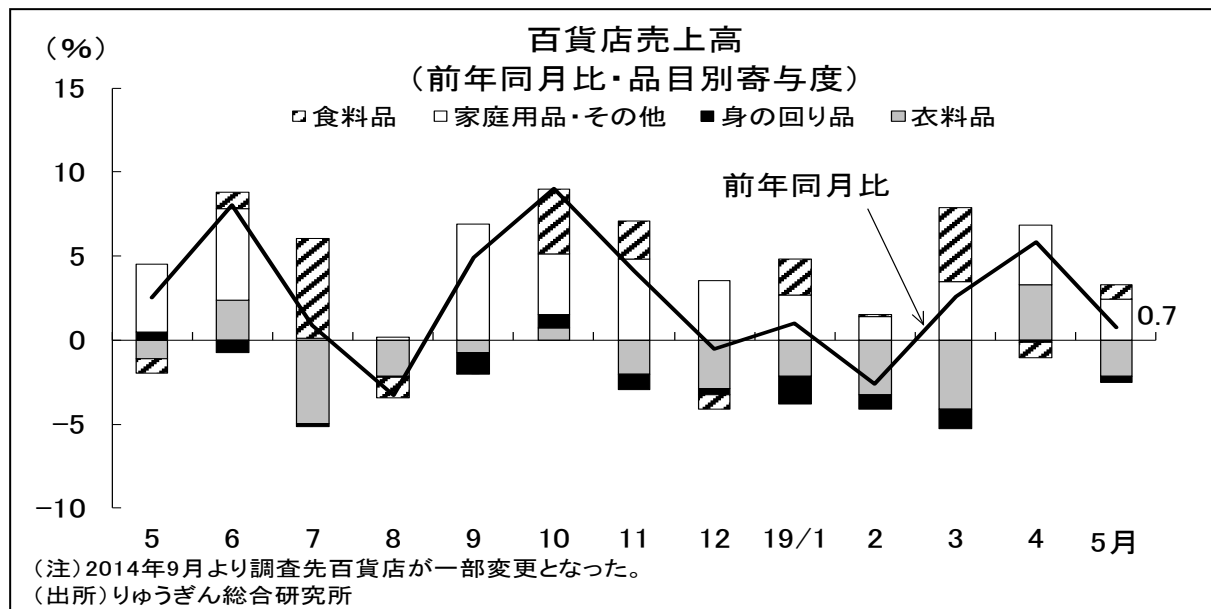
項目別グラフ(3カ月、2019年3月～2019年5月)



(注) 広告収入は19年2月～19年4月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

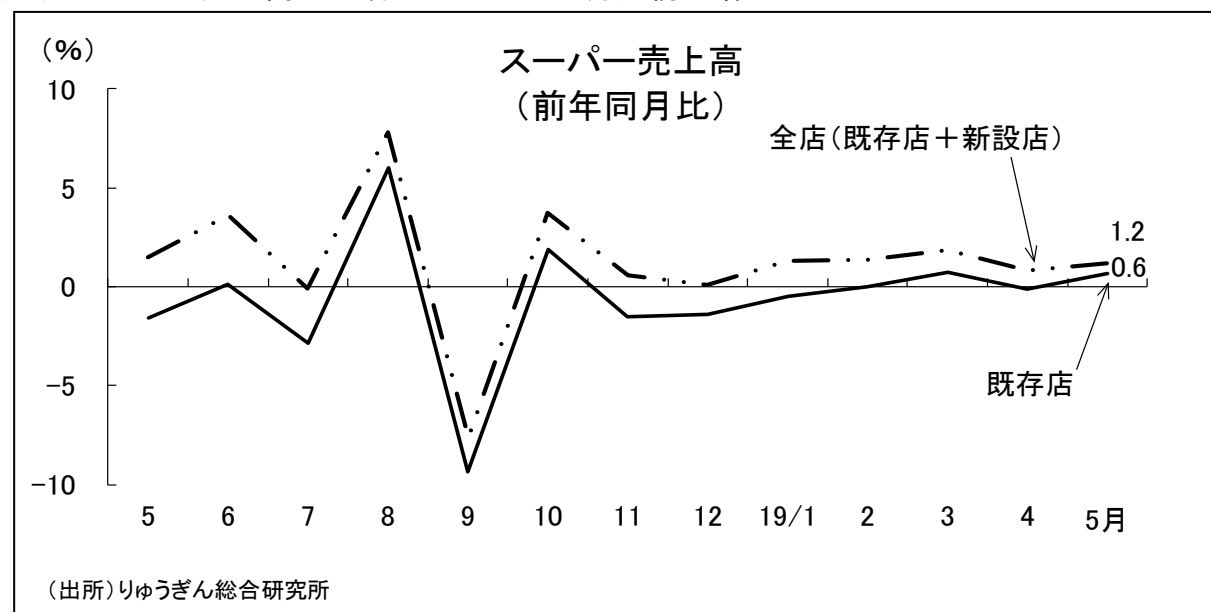
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：3カ月連続で増加



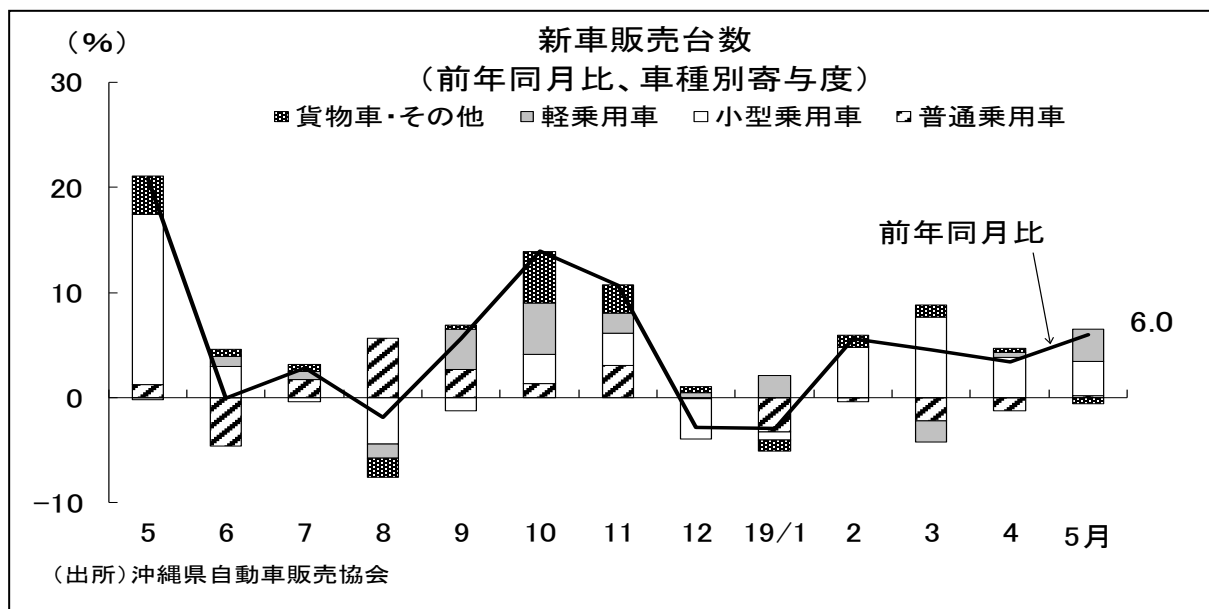
- 百貨店売上高は、前年同月比 0.7%増と3カ月連続で前年を上回った。食料品は催事効果などから増加し、家庭用品・その他は売り場改装による化粧品売上の伸びなどから増加した。衣料品は10連休明けから婦人服を中心に動きが鈍化したことなどから減少し、身の回り品はバッグやアクセサリなどの減少や訪日外国人による消費の鈍化などから減少した。
- 品目別にみると、食料品 (同 4.5%増)、家庭用品・その他 (同 6.3%増) は増加し、衣料品 (同 6.1%減)、身の回り品 (同 5.2%減) は減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは8カ月連続で増加



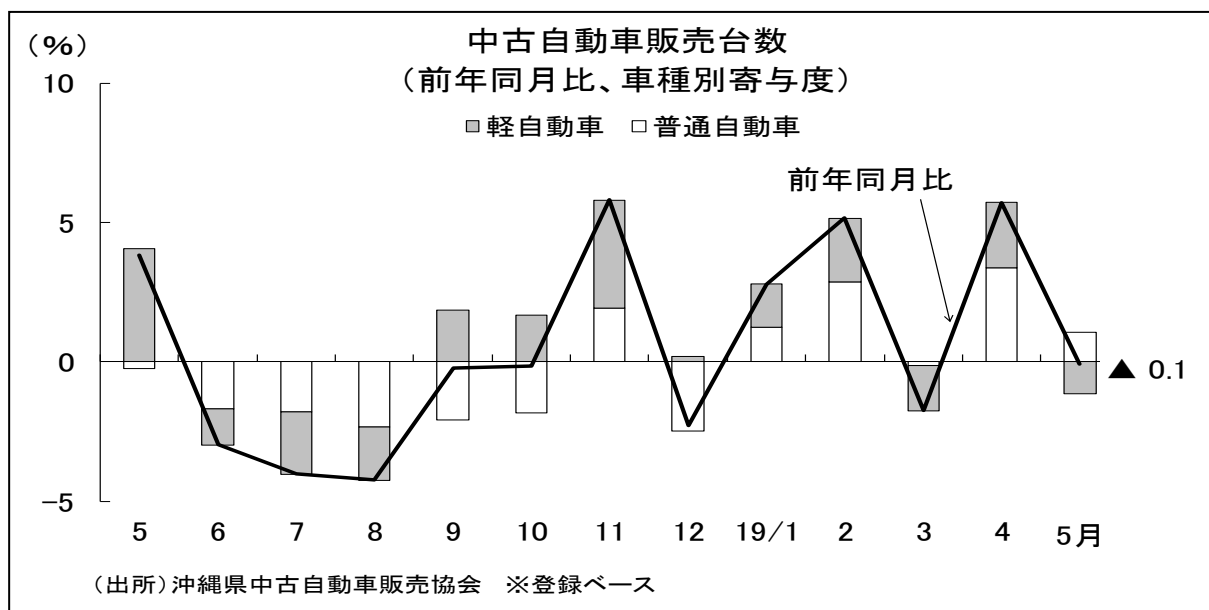
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 0.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 食料品は、生鮮食品などを中心に全体的に堅調だったことや10連休中の販促効果などから同 1.3%増となった。衣料品は、前年より気温が低く推移したことや前年同月のセールの反動などから同 6.4%減となった。住居関連は、化粧品の伸びや販促効果などから同 0.6%増となった。
- 全店ベースでは、同 1.2%増と8カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：4カ月連続で増加



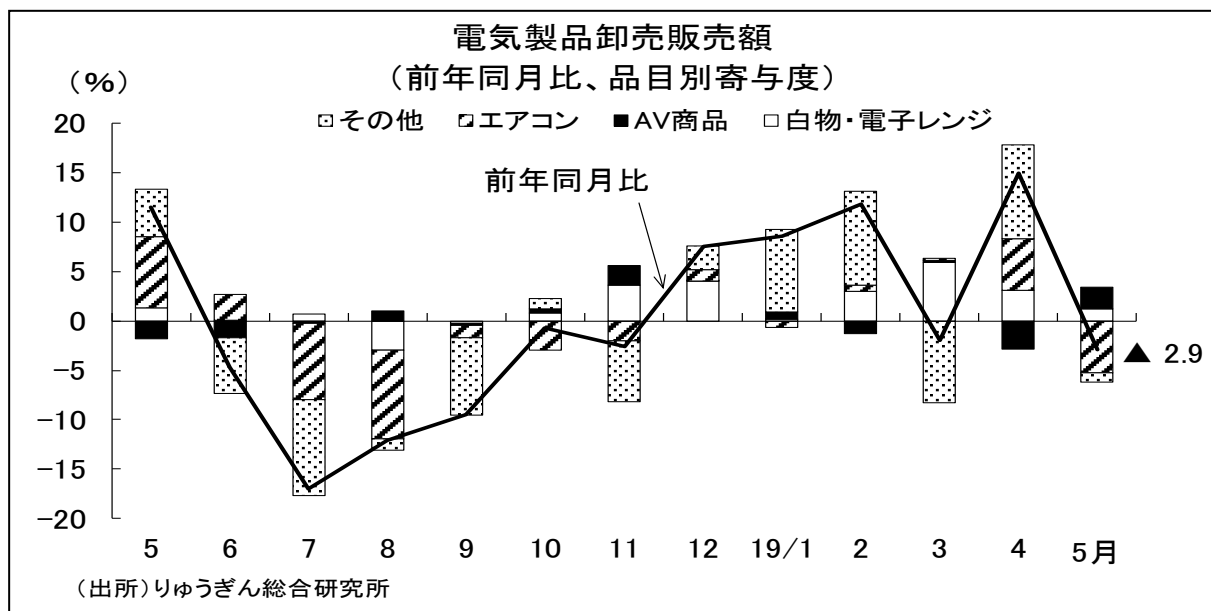
- ・新車販売台数は4,694台となり、前年同月比6.0%増と4カ月連続で前年を上回った。普通乗用車と軽乗用車は自家用車が増加したこと、小型乗用車ではレンタカーも増加したことなどから前年を上回った。貨物車・その他は、軽貨物車の減少などから前年を下回った。
- ・普通自動車（登録車）は2,440台（同6.4%増）で、うち普通乗用車は660台（同1.1%増）、小型乗用車は1,568台（同10.4%増）であった。軽自動車（届出車）は2,254台（同5.5%増）で、うち軽乗用車は1,832台（同7.9%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに減少



- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万9,525台で前年同月比0.1%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,563台（同2.8%増）、軽自動車は1万1,962台（同1.8%減）となった。

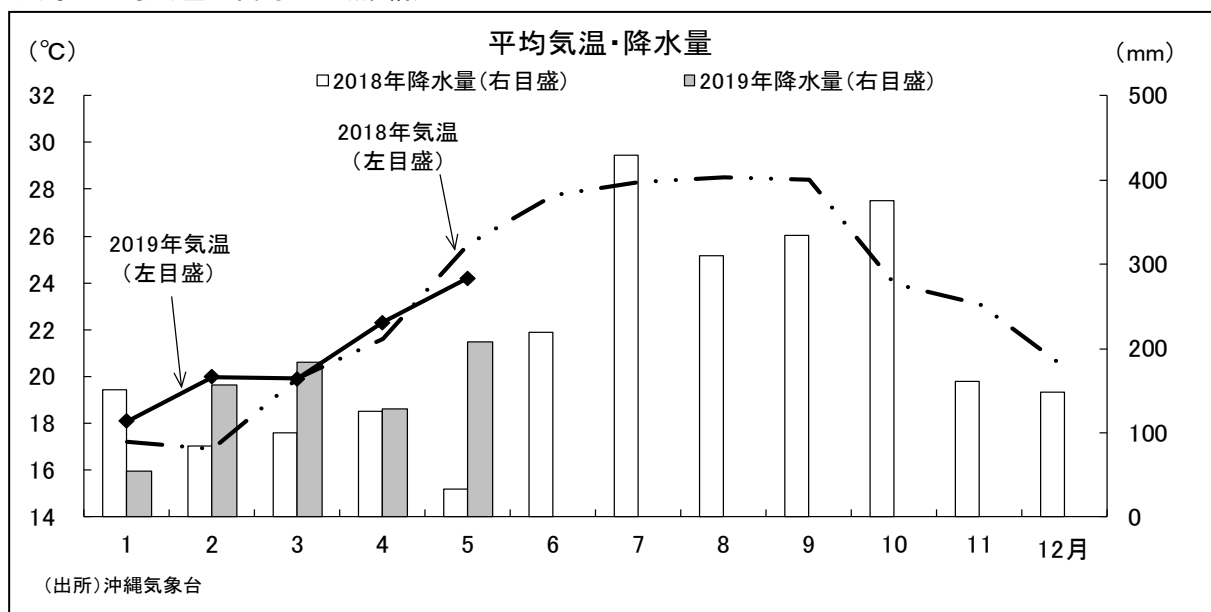
(5) 電気製品卸売販売額：2カ月ぶりに減少



- ・電気製品卸売販売額は、洗濯機や冷蔵庫、テレビなどは増加したものの、エアコンが減少したことなどから前年同月比2.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同7.3%減、テレビが同48.5%増、白物では洗濯機が同10.3%増、冷蔵庫が同1.4%増、エアコンが同20.6%減、その他は同2.1%減となった。

(参考)

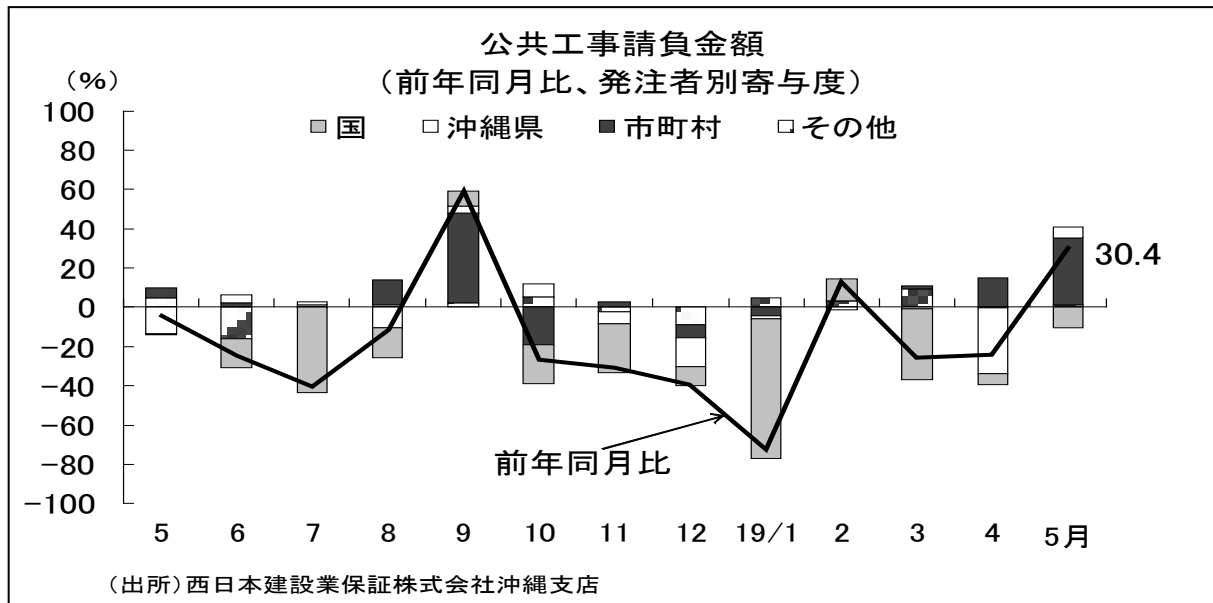
◇ 気象: 平均気温・降水量 (那覇)



- ・平均気温は24.2℃となり、平年(24.0℃)より高く、前年同月(25.6℃)より低かった。降水量は208.5mmで前年同月(33.0mm)よりかなり多かった。
- ・前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。沖縄地方は5月16日頃に梅雨入りしたと見られる(速報値)。平年より7日遅く、前年より16日早い梅雨入りとなった。平均気温と降水量と日照時間はすべて平年並みだった。

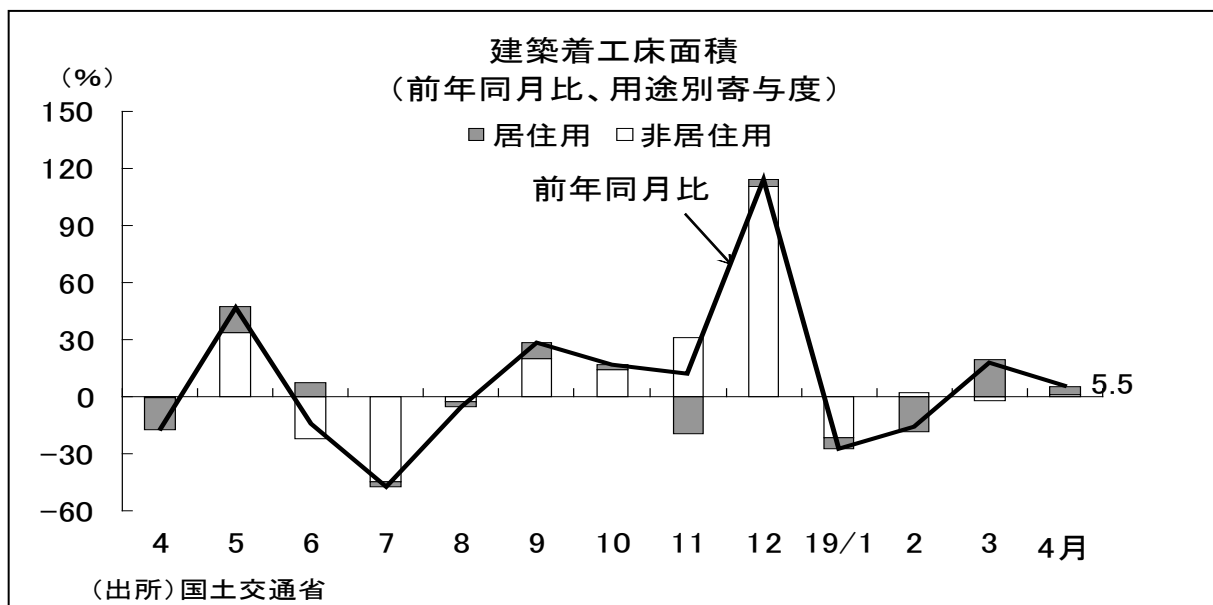
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに増加



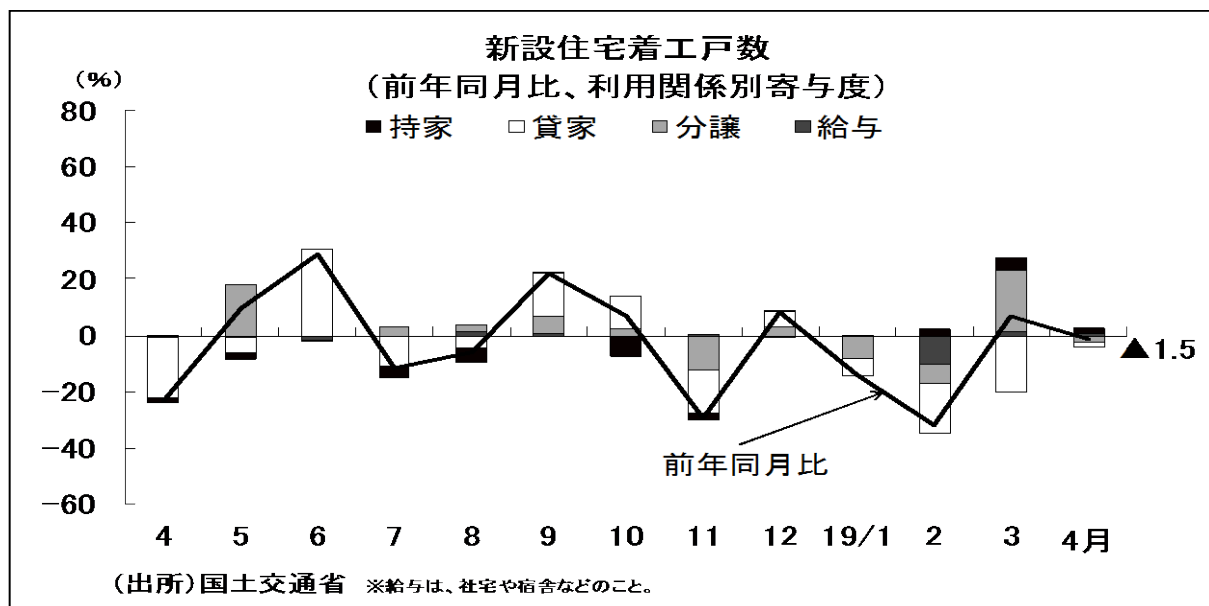
- ・公共工事請負金額は、210 億 3,874 万円で、国は減少したが、県、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、前年同月比 30.4%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、県（同 24.5%増）、市町村（同 114.8%増）、独立行政法人等・その他（同 10.7%増）は増加し、国（同 28.0%減）は減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



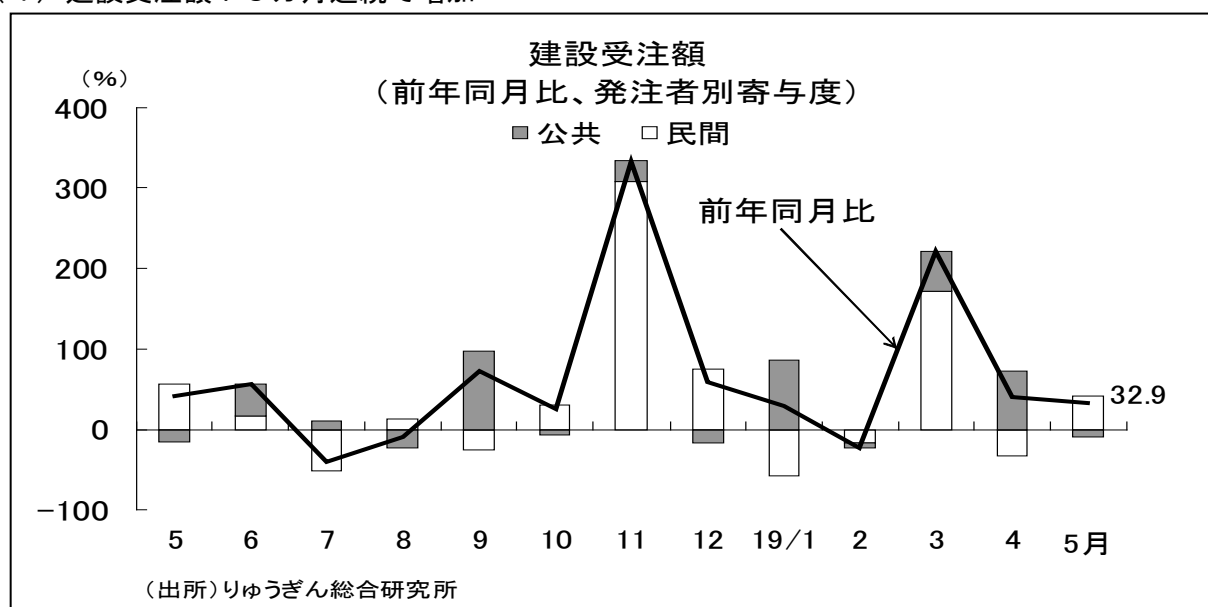
- ・建築着工床面積（4月）は 13 万 5,433 ㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから、前年同月比 5.5%増と2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同 7.1%増となり、非居住用は同 3.0%増となった。
- ・建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、金融・保険業用や不動産業用などが増加し、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに減少



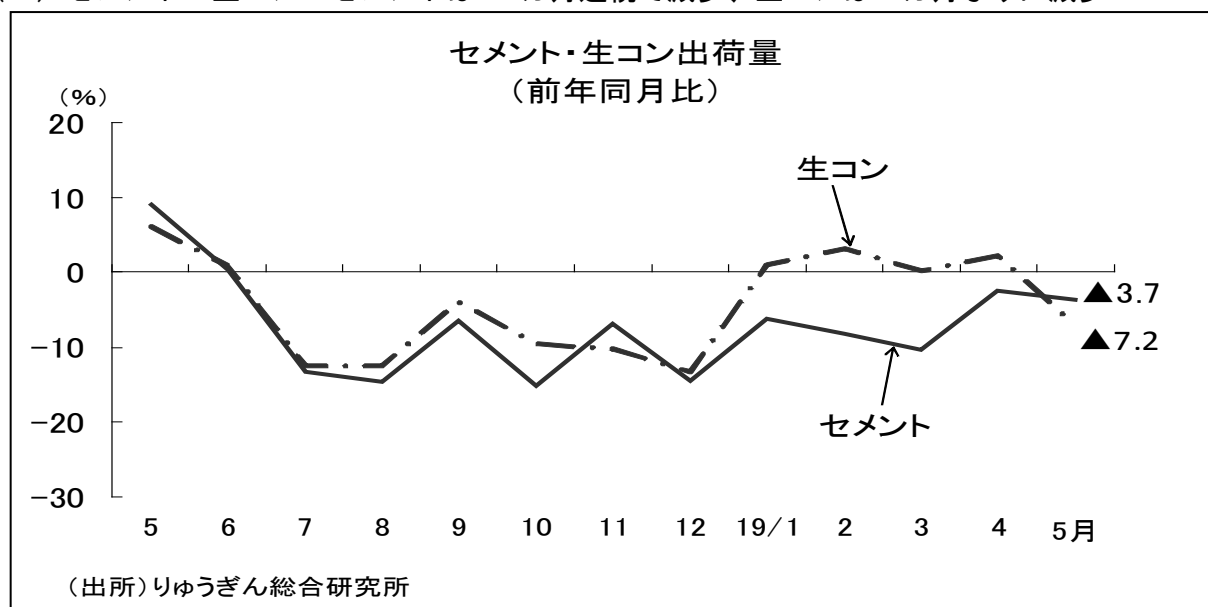
- ・新設住宅着工戸数（4月）は1,153戸となり、持家、給与は増加したが、貸家、分譲は減少したことから前年同月比1.5%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家（239戸）が同8.6%増、給与（12戸）が同1100.0%増と増加し、貸家（733戸）が同2.8%減、分譲（169戸）が同13.8%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月連続で増加



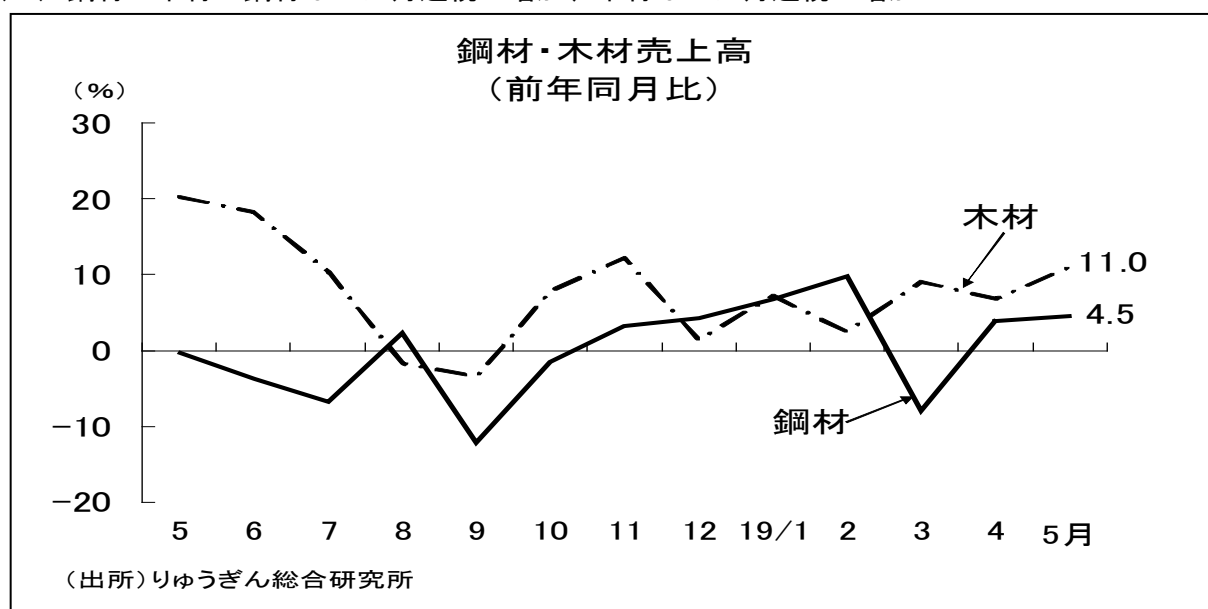
- ・建設受注額（調査先建設会社：18社）は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことから、前年同月比32.9%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事（同26.1%減）は3カ月ぶりに減少し、民間工事（同63.0%増）は2カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは11カ月連続で減少、生コンは5カ月ぶりに減少



- ・セメント出荷量は7万6,498トンとなり、前年同月比3.7%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は13万3,174 m³で同7.2%減となり、公共工事向け、民間工事向けともに減少したことから5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連向けなどが増加し、橋梁関連向けや一般土木向けなどが減少した。民間工事では、宿泊施設向けなどが増加し、貸家向けや商業施設向けなどが減少した。

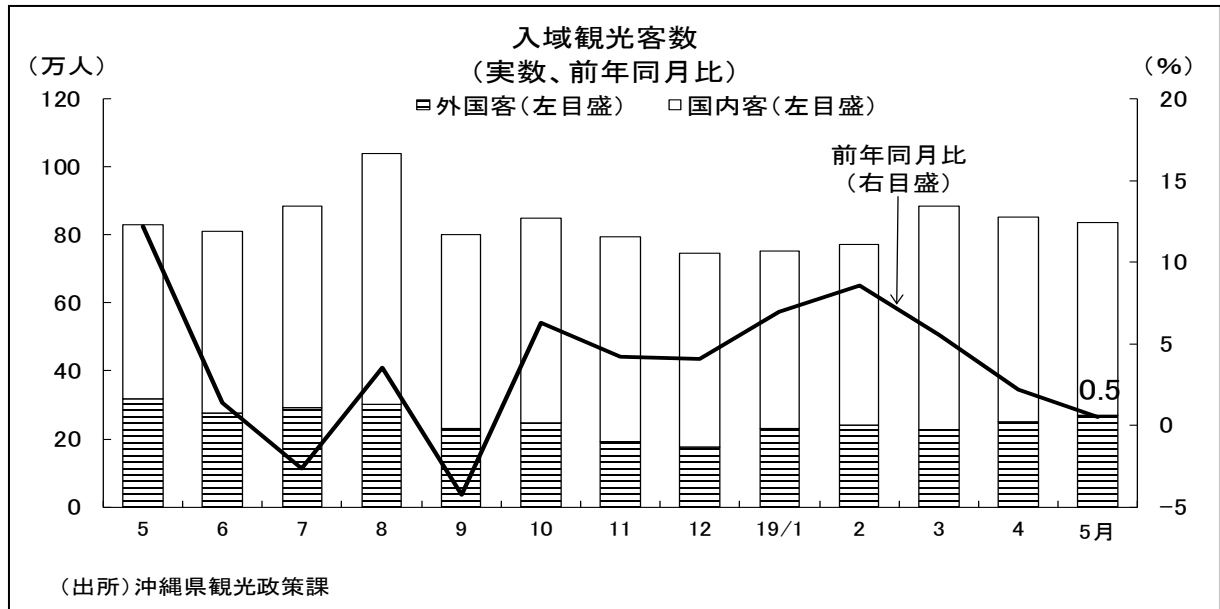
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月連続で増加、木材は8カ月連続で増加



- ・鋼材売上高は、民間工事の進捗により出荷が増加したことなどから前年同月比4.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けの出荷が増加したことなどから同11.0%増と8カ月連続で前年を上回った。

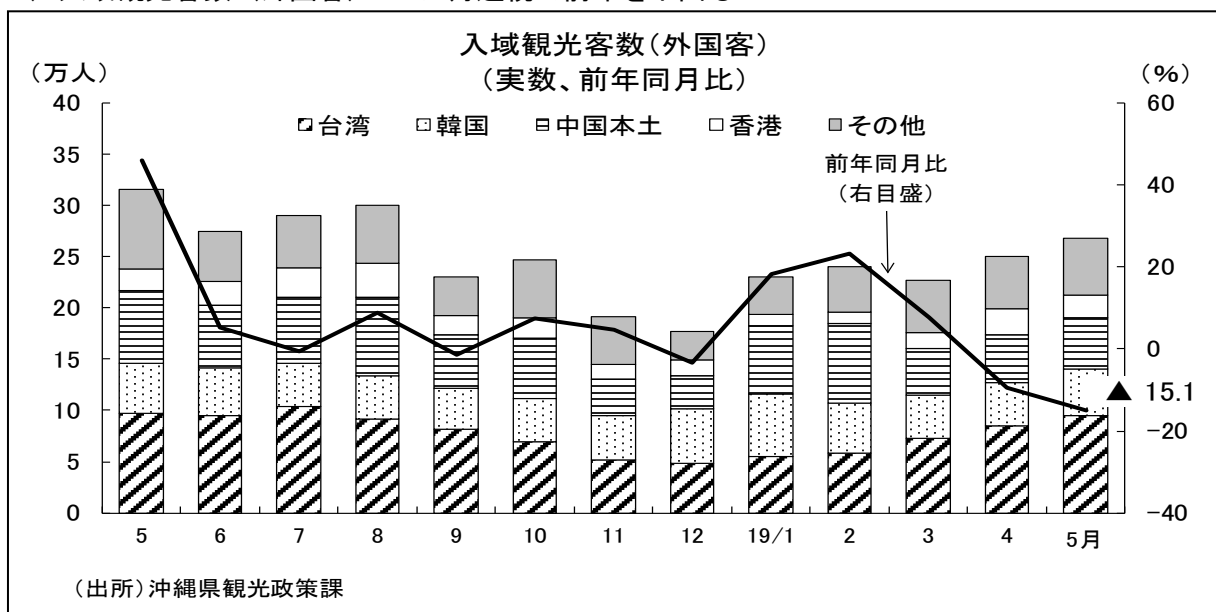
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：5月の過去最高を更新



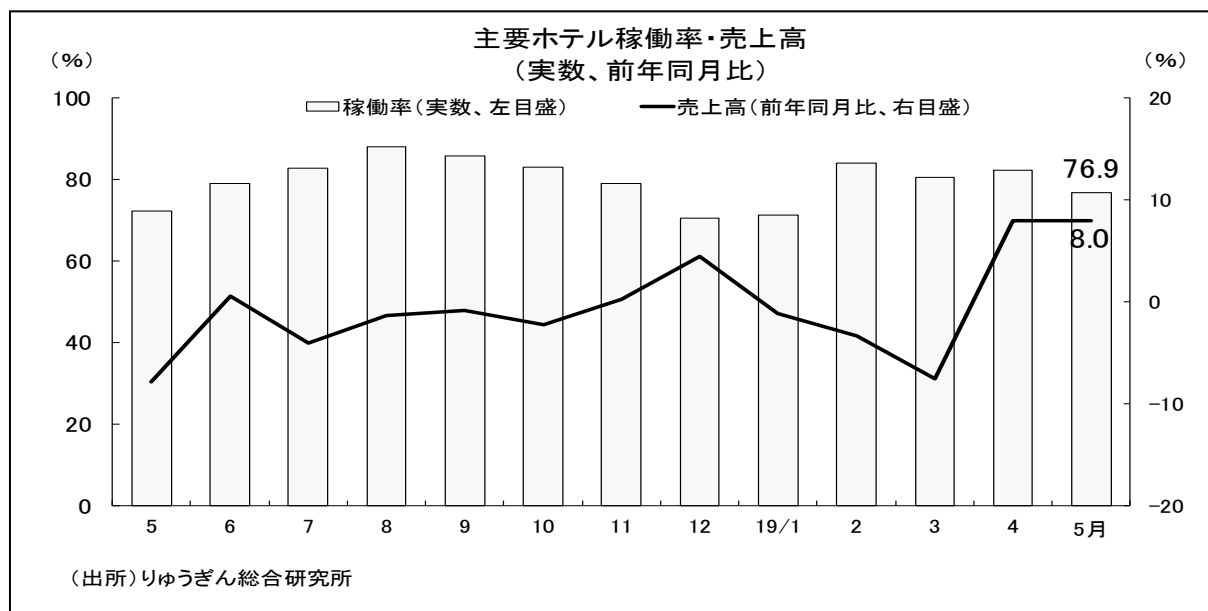
- ・入域観光客数は、83万4,900人（前年同月比0.5%増）となり、8カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は71万8,600人（同8.9%増）となり8カ月連続で前年を上回った。海路は11万6,300人（同31.9%減）となり2カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、56万6,500人（同10.1%増）となり、8カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数（外国客）：2カ月連続で前年を下回る



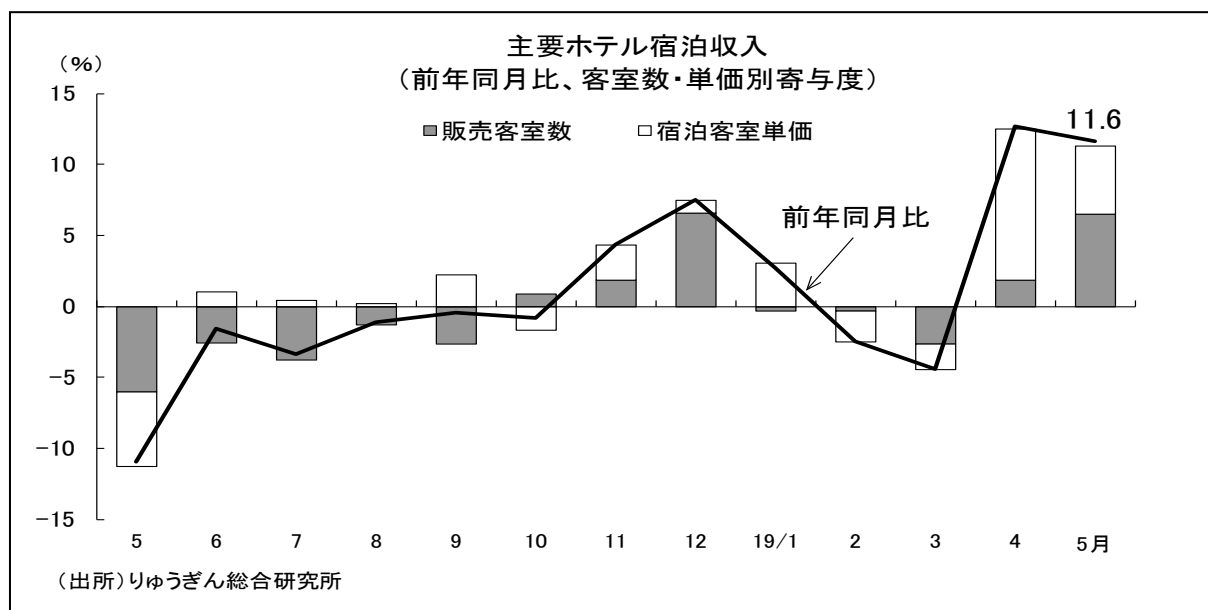
- ・入域観光客数（外国客）は、26万8,400人（前年同月比15.1%減）となり、2カ月連続で前年を下回った。空路は16万2,300人（同4.8%増）と2カ月ぶりに前年を上回り、海路は10万6,100人（同34.3%減）と2カ月連続で前年を下回った。
- ・国籍別では、台湾9万4,900人（同2.4%減）、中国本土4万9,700人（同30.0%減）、韓国4万5,600人（同6.6%減）、香港2万2,100人（同4.7%増）、その他5万6,100人（同28.3%減）となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は2カ月連続で上昇、売上高は2カ月連続で増加



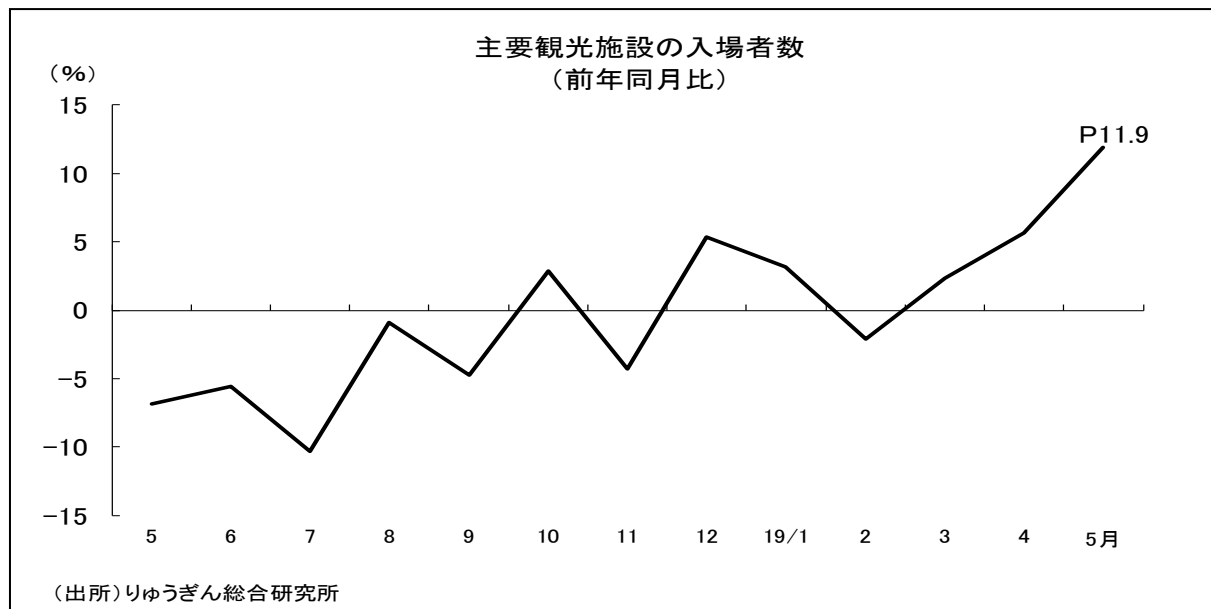
- ・主要ホテルは、客室稼働率は76.9%となり、前年同月比4.6%ポイント上昇し2カ月連続で前年を上回った。売上高は同8.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は75.8%と同4.5%ポイント上昇し2カ月連続で前年を上回り、売上高は同5.7%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は77.6%と同4.7%ポイント上昇して2カ月連続で前年を上回り、売上高は同8.9%増と2カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で増加



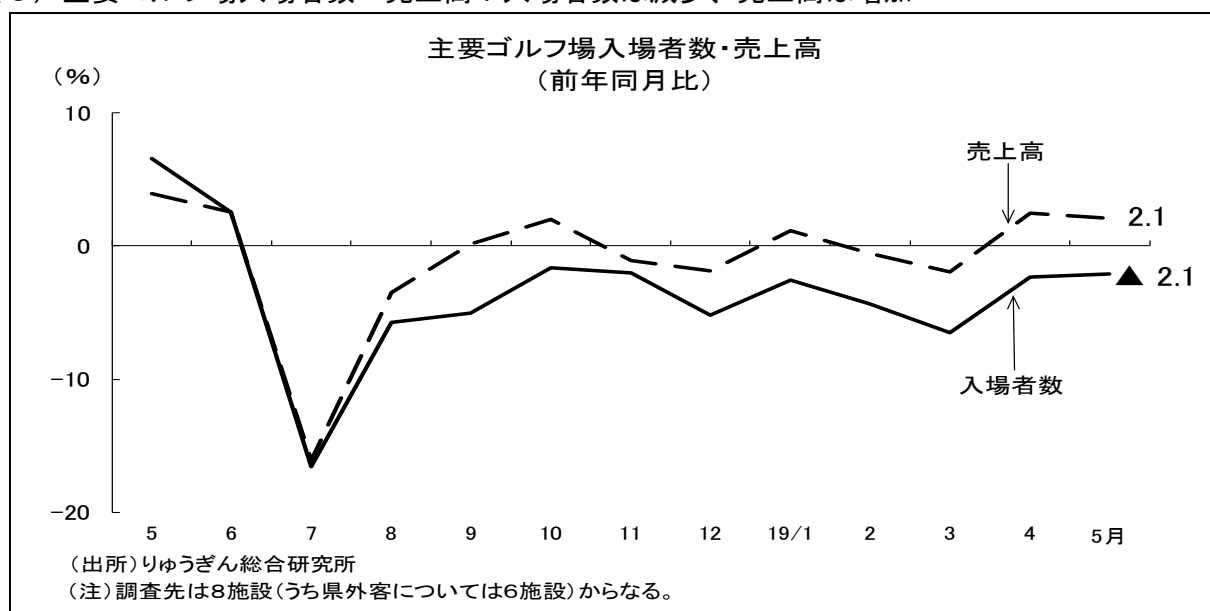
- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに上昇し、前年同月比11.6%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同11.7%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同11.6%増と2カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：3カ月連続で増加



- ・主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 11.9%増となり、3カ月連続で前年を上回った。

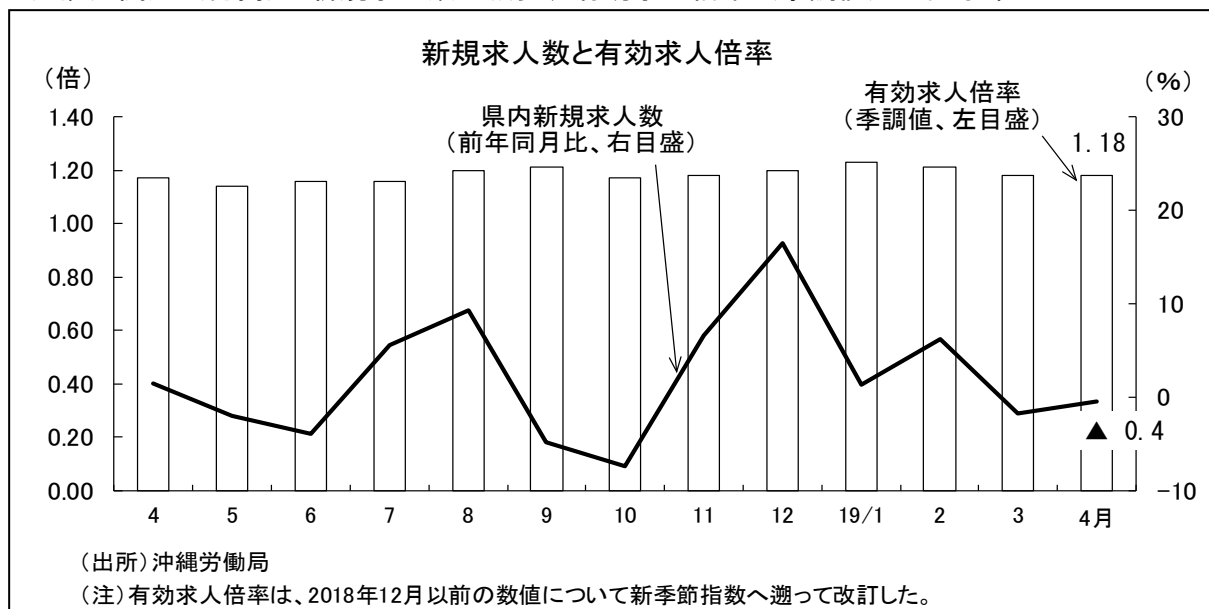
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は減少、売上高は増加



- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 2.1%減と 11 カ月連続で前年を下回った。県内客は 11 カ月連続で前年を下回り、県外客は 7 カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同 2.1%増と 2 カ月連続で前年を上回った。

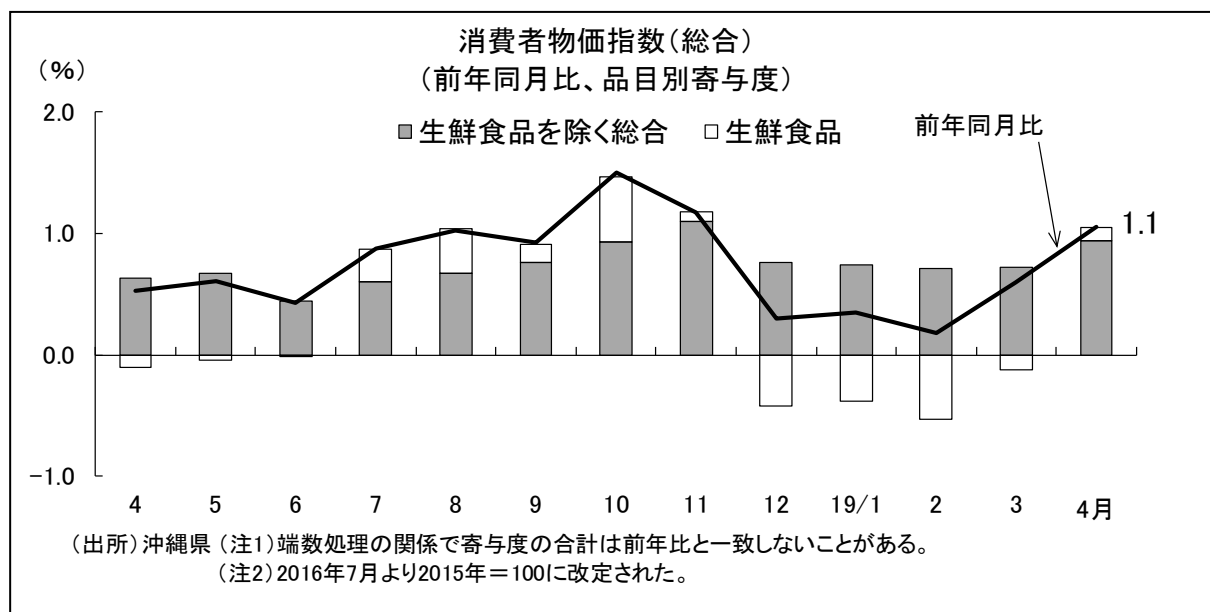
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は同水準



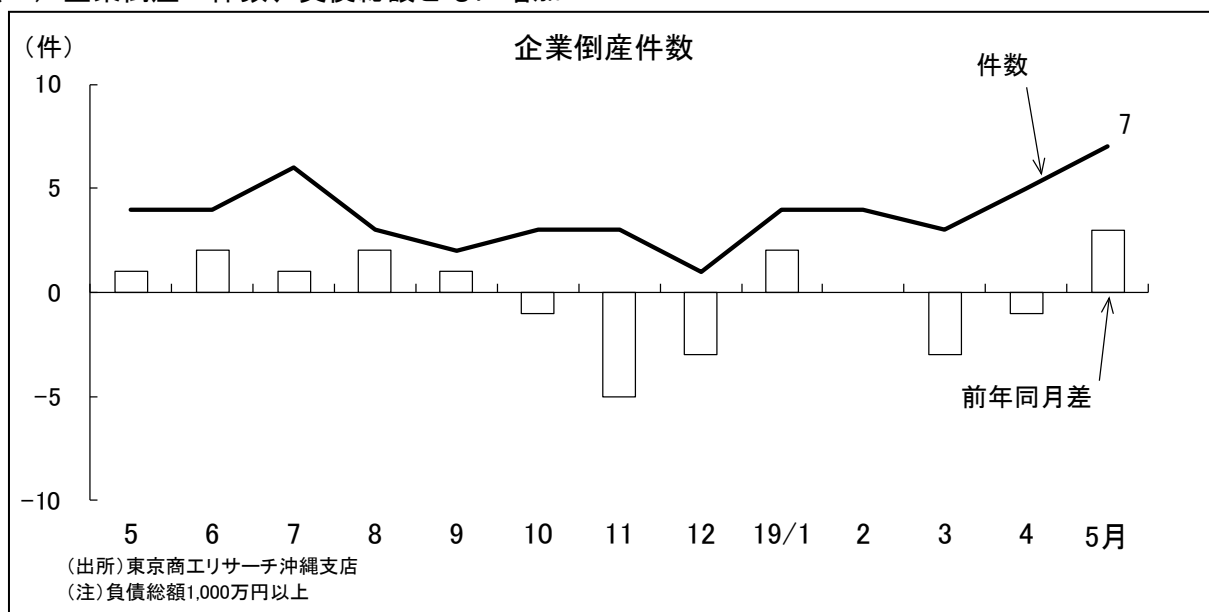
- ・新規求人数（4月）は、前年同月比 0.4%減となり2カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（季調値、4月）は1.18倍と、前月と同水準だった。
- ・労働力人口（4月）は、73万3,000人で同1.5%減となり、就業者数（4月）は、71万5,000人で同0.8%減となった。完全失業者数（4月）は1万8,000人で同21.7%減となり、完全失業率（季調値、4月）は2.4%と、前月より0.7%ポイント改善した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：31カ月連続で上昇



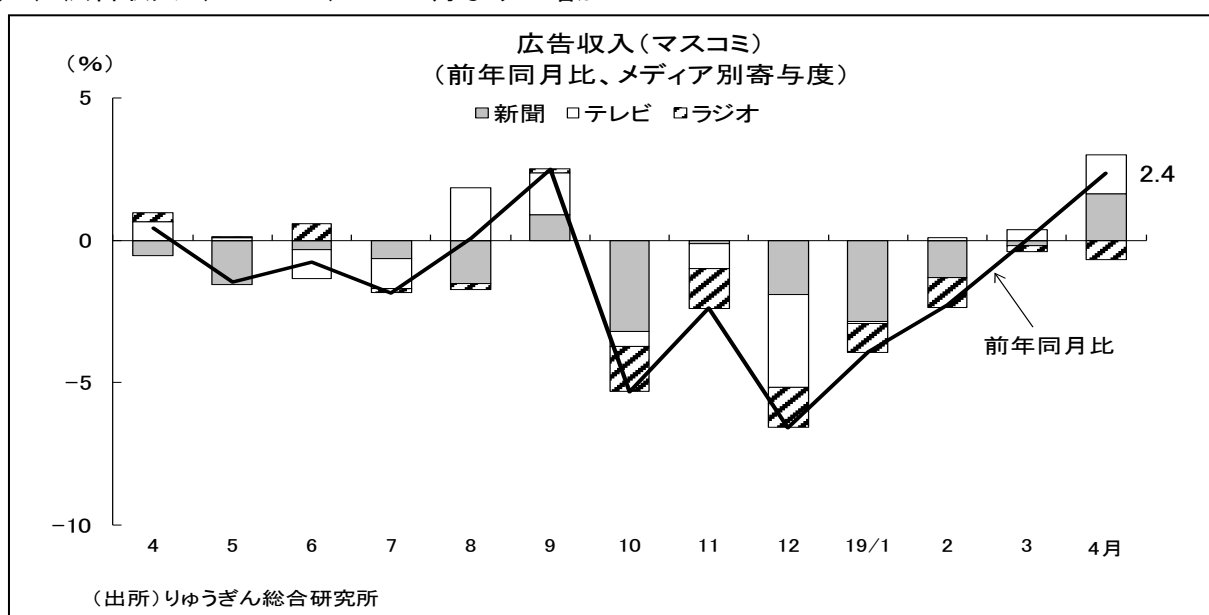
- ・消費者物価指数（4月）は、前年同月比 1.1%増と31カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同1.0%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道や食料などは上昇し、家具・家事用品などは下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・倒産件数は、7件で前年同月を3件上回った。業種別では、建設業3件（同2件増）、製造業1件（同1件増）、不動産業1件（同1件増）、サービス業2件（同数）となった。
- ・負債総額は、10億4,200万円となり、前年同月比200.3%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：7カ月ぶりに増加



- ・広告収入（マスコミ：4月）は、前年同月比2.4%増と7カ月ぶりに前年を上回った。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	電気製品 卸売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	2,103	3.2
2017	2.7	1.5	2.1	▲ 1.5	2.1	2.8	351,069	5.1	2,249	7.0
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2018 4	3.0	▲ 1.0	1.7	▲ 13.9	36.9	▲ 0.8	22,513	26.3	128	▲ 17.2
5	2.6	▲ 1.6	1.5	11.5	20.8	3.8	16,134	▲ 4.5	151	46.8
6	8.0	0.1	3.6	▲ 4.7	▲ 0.1	▲ 3.0	25,324	▲ 24.9	189	▲ 14.5
7	0.9	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 17.0	2.8	▲ 4.0	26,729	▲ 40.6	235	▲ 47.5
8	▲ 3.3	6.0	7.8	▲ 12.0	▲ 1.9	▲ 4.2	36,794	▲ 11.5	183	▲ 5.2
9	4.9	▲ 9.3	▲ 7.7	▲ 9.5	5.6	▲ 0.2	37,192	59.2	197	28.6
10	9.0	1.9	3.7	▲ 0.7	13.9	▲ 0.2	20,558	▲ 26.8	179	17.0
11	4.1	▲ 1.5	0.5	▲ 2.6	10.7	5.8	16,031	▲ 30.7	208	12.1
12	▲ 0.5	▲ 1.4	0.1	7.5	▲ 2.8	▲ 2.3	11,613	▲ 39.7	352	114.2
2019 1	1.0	▲ 0.5	1.3	8.5	▲ 2.9	2.8	14,944	▲ 72.6	122	▲ 27.3
2	▲ 2.6	0.0	1.4	11.8	5.6	5.2	27,833	12.8	138	▲ 15.8
3	2.6	0.7	1.9	▲ 2.0	4.6	▲ 1.7	40,417	▲ 25.9	162	17.7
4	5.8	▲ 0.2	0.8	14.9	3.4	5.7	17,044	▲ 24.3	135	5.5
5	0.7	0.6	1.2	▲ 2.9	6.0	▲ 0.1	21,038	30.4	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生 コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2016	16,201	0.4	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	2.6	▲ 2.9	0.3
2017	16,591	2.4	▲ 8.0	11.3	9.5	26.4	0.3	3.6	3.2	0.1
2018	16,803	1.3	10.6	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.2	▲ 1.2	▲ 2.3
2018 4	1,171	▲ 23.4	▲ 68.7	14.1	7.9	20.4	13.6	▲ 2.7	1.7	0.4
5	1,148	9.5	41.6	9.0	6.2	▲ 0.3	20.2	▲ 9.2	6.6	▲ 1.5
6	1,730	28.8	56.3	0.3	0.9	▲ 3.8	18.2	▲ 5.5	2.5	▲ 0.8
7	1,690	▲ 11.7	▲ 40.8	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 6.8	10.4	▲ 10.3	▲ 16.6	▲ 1.8
8	1,341	▲ 5.9	▲ 9.5	▲ 14.6	▲ 12.5	2.3	▲ 1.8	▲ 0.9	▲ 5.8	0.1
9	1,482	22.2	72.2	▲ 6.5	▲ 3.9	▲ 12.3	▲ 3.4	▲ 4.7	▲ 5.0	2.5
10	1,486	6.8	25.1	▲ 15.2	▲ 9.6	▲ 1.5	7.8	2.8	▲ 1.6	▲ 5.3
11	1,139	▲ 29.7	333.9	▲ 6.9	▲ 10.2	3.2	12.3	▲ 4.3	▲ 2.0	▲ 2.4
12	1,507	8.3	58.1	▲ 14.6	▲ 13.4	4.3	1.5	5.4	▲ 5.2	▲ 6.6
2019 1	1,070	▲ 14.2	28.4	▲ 6.2	1.1	6.7	7.2	3.1	▲ 2.6	▲ 3.9
2	1,093	▲ 32.1	▲ 23.3	▲ 8.2	3.2	9.7	2.5	▲ 2.1	▲ 4.3	▲ 2.3
3	1,340	6.9	220.8	▲ 10.4	0.3	▲ 8.0	9.1	2.3	▲ 6.5	▲ 0.0
4	1,153	▲ 1.5	40.3	▲ 2.4	2.2	3.8	6.8	5.7	▲ 2.3	2.4
5	—	—	32.9	▲ 3.7	▲ 7.2	4.5	11.0	P11.9	▲ 2.1	—
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	82.2	80.3	3.6	3.8	95.5	▲ 5.2
2017	9,396.2	9.1	2,542.2	22.1	81.3	80.1	▲ 0.9	0.9	99.9	4.6
2018	9,842.4	4.7	2,903.8	14.2	80.7	79.4	0.6	▲ 1.8	96.7	▲ 3.2
2018 4	833.2	9.7	276.8	27.2	78.8	81.9	▲ 3.9	0.9	98.8	▲ 9.0
5	830.9	12.2	316.3	45.9	71.3	72.8	▲ 6.1	▲ 8.5	97.8	10.0
6	809.7	1.4	275.1	5.2	78.1	79.5	0.9	0.5	102.0	2.7
7	884.1	▲ 2.6	290.8	▲ 0.6	80.6	84.1	▲ 0.8	▲ 4.9	89.3	▲ 4.3
8	1,037.9	3.5	300.0	8.8	85.9	89.5	▲ 2.2	▲ 1.1	103.1	▲ 0.1
9	801.5	▲ 4.3	230.5	▲ 1.3	87.3	85.0	4.0	▲ 2.5	95.1	▲ 7.2
10	849.3	6.3	246.5	7.5	80.5	84.7	2.6	▲ 4.1	93.5	▲ 8.2
11	795.2	4.2	191.1	4.8	85.3	75.7	4.7	▲ 2.0	92.3	4.4
12	747.5	4.0	177.2	▲ 3.2	76.1	67.4	4.1	4.7	90.7	▲ 8.0
2019 1	753.5	7.0	229.8	18.2	75.9	69.0	1.2	▲ 2.2	95.4	2.4
2	772.2	8.5	240.1	23.3	89.9	80.9	▲ 2.3	▲ 3.9	94.0	▲ 1.5
3	884.0	5.6	226.6	7.8	82.8	79.4	▲ 1.6	▲ 10.2	97.1	3.3
4	851.4	2.2	250.3	▲ 9.6	80.1	83.6	6.8	8.5	—	—
5	834.9	0.5	268.4	▲ 15.1	75.8	77.6	5.7	8.9	—	—
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2013年11月より2010年＝100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,928	177,391
2017	51	6,223	20.6	0.5	3.7	1.8	1.11	6.6	32,347	194,709
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.17	2.1	29,105	175,054
2018 4	6	1,467	1,028.5	0.5	3.0	4.6	1.17	1.5	1,890	7,658
5	4	347	▲ 11.3	0.6	3.9	1.7	1.14	▲ 2.0	1,461	15,708
6	4	1,317	1,781.4	0.4	3.2	0.4	1.16	▲ 3.9	1,687	9,788
7	6	5,697	1,605.7	0.9	2.8	0.6	1.16	5.5	1,103	15,803
8	3	941	499.4	1.0	3.5	2.9	1.20	9.3	1,481	13,756
9	2	414	2,487.5	0.9	3.9	1.6	1.21	▲ 4.8	1,316	11,697
10	3	605	97.1	1.5	3.8	1.6	1.17	▲ 7.4	1,864	22,440
11	3	56	▲ 93.4	1.2	3.1	4.0	1.18	6.6	1,336	12,945
12	1	10	▲ 99.2	0.3	3.0	2.7	1.20	16.5	13,104	19,097
2019 1	4	560	▲ 9.7	0.4	2.8	4.5	1.23	1.4	982	23,937
2	4	708	93.4	0.2	2.0	4.6	1.21	6.3	7,567	7,412
3	3	110	▲ 80.9	0.6	3.1	0.7	1.18	▲ 1.8	1,233	9,343
4	5	832	▲ 43.3	1.1	2.4	▲ 0.8	1.18	▲ 0.4	2,377	15,763
5	7	1,042	200.3	—	—	—	—	—	1,095	9,867
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2018年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2016FY	2,830	4,284	▲ 1,452	1.628	229	▲ 6.6	3,767	▲ 8.8	138	0.037
2017FY	2,344	3,916	▲ 1,728	1.559	211	▲ 7.9	3,677	▲ 2.4	82	0.022
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2018 4	267	248	19	1.538	16	1.8	332	16.2	7	0.022
5	168	484	▲ 316	1.526	20	▲ 3.7	370	▲ 0.0	0	0.000
6	208	275	▲ 67	1.520	16	▲ 18.1	262	▲ 21.0	0	0.001
7	206	321	▲ 114	1.517	19	5.2	374	17.1	3	0.008
8	226	402	▲ 176	1.515	18	▲ 3.0	334	▲ 6.2	0	0.000
9	150	322	▲ 172	1.515	14	▲ 8.9	259	1.7	6	0.024
10	188	395	▲ 206	1.515	19	▲ 0.9	324	▲ 1.9	1	0.001
11	189	343	▲ 154	1.514	16	▲ 2.8	277	▲ 6.3	1	0.004
12	452	123	329	1.506	15	▲ 6.2	252	▲ 4.1	6	0.024
2019 1	110	622	▲ 512	1.505	17	▲ 3.1	310	0.0	0	0.000
2	158	253	▲ 94	1.501	16	▲ 2.5	267	▲ 6.9	0	0.000
3	189	304	▲ 115	1.483	15	▲ 11.3	238	▲ 13.6	0	0.000
4	482	157	325	1.490	15	▲ 6.4	335	0.8	0	0.000
5	-	-	-	-	18	▲ 12.3	356	▲ 3.8	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2016FY	45,634	0.6	34,673	4.9	45,235	2.7	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
2017FY	47,488	4.1	36,762	6.0	47,533	5.1	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2018 4	48,229	3.7	36,184	6.2	48,312	4.4	8,454	3.3	1,146	▲ 1.9
5	47,987	3.5	36,443	6.1	48,095	4.2	8,429	3.3	1,138	▲ 0.5
6	48,183	3.7	36,582	6.2	48,355	4.4	8,411	3.6	1,141	0.6
7	48,122	3.2	36,785	6.2	48,263	3.8	8,385	3.7	1,155	1.4
8	48,058	3.4	36,889	6.0	48,256	4.0	8,369	3.6	1,173	2.7
9	48,570	4.0	37,222	5.9	48,778	4.4	8,345	3.1	1,183	3.1
10	47,953	3.0	37,137	6.0	48,189	3.6	8,317	4.0	1,181	2.8
11	48,376	3.2	37,333	6.0	48,593	3.6	8,329	3.9	1,191	3.6
12	48,217	3.2	37,525	5.5	48,467	3.7	8,453	2.7	1,197	4.1
2019 1	47,709	2.5	37,605	5.2	48,010	3.1	8,465	2.4	1,192	3.1
2	47,964	2.5	37,838	5.2	48,208	2.9	8,465	1.7	1,189	2.1
3	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
4	49,305	2.2	38,003	5.0	49,675	2.8	8,555	1.2	1,174	2.5
5	49,282	2.7	38,172	4.7	-	-	8,509	1.0	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。